



おとなのワクチン 特別編 「新型コロナウイルスワクチン」



皆さんこんにちは。久しぶりのおとなのワクチンシリーズですが、今回は特別編として新型コロナウイルスワクチンの話をいたします。



このワクチンについて情報が日進月歩であり、この記事を書いている2021年2月8日時点での情報を元に記事を書きますので、皆様がこの記事を見た時にはすでに化石のような情報になっているかも知れないことを了承の上ご一読ください。

結論から言いますが、この新型コロナウイルスワクチンは絶対に接種した方がいいと私は勧めます。以下に理由を記載していきます。

まず一つは、新型コロナウイルスのその死亡率の高さが問題です。根本的な治療薬が残念ながら現時点で存在せず、治療は対症療法が中心となります。

20歳台までは死亡率はほぼ0%に近い数字ですが、30歳以上では死亡率が上昇します。特に70歳台で17.05%、80歳台で30.72%、90歳台で34.50%と高齢者には数人に一人の割合という高い死亡率

亡率になっていきます。死亡しなくても後遺症が残ることを考慮すると高齢者にとって非常に恐ろしい感染症であることは間違いありません。

ワクチンの有効性については、2回接種した場合、日本で承認される予定のワクチンでは、ファイザー社95%、モデルナ社94.1%、アストラゼネカ社90%発症を減らすとされています。

インフルエンザワクチンの有効率は30〜50%程度であることを考慮すると優れたワクチンが開発されたと言ってもよいでしょう。また重症化予防効果もあると報告されています。ただし、効果がどの程度持続するかについては、長期的な判定が現時点ではできないため分かっています。

実際には罹患した方の抗体が平均して約8か月続いたとの報告があるので、ワクチンもその程度の可能性があり、生涯に1度だけではなく、

インフルエンザワクチンのように毎年接種する必要があるワクチンになる可能性があります。

副反応については、皆さんどうしても気になる場所です。現時点でわかっている副反応は、接種部位の痛み・腫れ・発赤などの局所症状と、発熱・倦怠感・頭痛・寒気・筋肉痛・関節痛など全身状態が報告されています。

局所症状は80〜89%、全身症状は55〜83%と多くの方に起こると報告されています。ニュース等で大きく報道されているアナフィラキシーという重篤な副反応は、発生率は10万人に1人の割合とされており、三重県民が180万人とすると三重県で18人程度発生する割合です。

またアナフィラキシーは適切に対処すれば、死亡することはほとんどなくきちんと準備された場所接種を受ければ安全であると言えます。むしろ私が

気にかけているのは、過緊張状態で接種を受けて失神する「迷走神経反射」で血圧が下がってしまう人が一定数出るのではないかという事です。

接種を受ける際にはデータを信じておらかな気持ちで、接種を受けて下さい。

このワクチンに関しては、一律10万円の給付金よりもはるかに価値のある物であると思っております。命は10万円では買えません。そして大事なことは、ワクチンを受けたとしても受けられない人々がいることを忘れてはいけません。その人々たちを守るためにも接種できる人が接種をして集団免疫をつける事が大切です。

「One for All, All for One」みんなの手をつないでこの難局を乗り越えていきましょう。

参照) ・新型コロナウイルスについて | 厚生労働省 (mhlw.go.jp) ・新型コロナウイルス こどもとおとなのワクチンサイト (vaccine4all.jp)